

⑫ 公開特許公報(A) 平3-212340

⑤Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬公開 平成3年(1991)9月17日

B 65 D 5/40
5/08
5/74A 6540-3E
A 6540-3E
L 6671-3E

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全14頁)

⑭発明の名称 容器

⑮特 願 平1-341639

⑯出 願 平1(1989)12月29日

⑰発 明 者 川 尻 僚 一 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

⑱発 明 者 関 野 均 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

⑲出 願 人 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

⑳代 理 人 弁理士 石川 泰男 外1名

明 細 書

パネル間に折り込んで重合接着され形成されていることを特徴とする請求項1記載の容器。

1. 発明の名称

容 器

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、横断面形状長方形の直方体胴部とゲーベルトップ型の頂部閉鎖部を有する容器に関する。

〔従来の技術〕

近年、種々の飲料用容器として、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部を有するラミネート紙製容器が使用されている。このような容器としては、容器胴部の横断面形状が正方形のものと長方形のものがある。一般に、後者は前者に比べて比較的容量の大きな容器である。これは、一つとして、容器の高さに制限がある状態で容量を増大する場合、前者では胴部の幅も増大することとなり、容器の取扱い(把持)に不便が生じるが、容器の一方の幅はそのままに他の方向の幅のみ拡大する場合(後者の場合)は、容器の把握が容易であること

2. 特許請求の範囲

1. 互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部と、該直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部と、前記直方体胴部の他方の開口端部に形成された底部閉鎖部とを有する容器において、

前記頂部閉鎖部に前記直方体胴部の横断面長方形の短辺と平行な中央積層リブが形成されていることを特徴とする容器。

2. 前記中央積層リブは、前記広幅の胴パネルに連設した1組の妻パネルの上端部の内側リブパネルをそれぞれ1つ折りあるいは3つ折りのいずれかの折り込み状態で、前記狭幅の胴パネルに連設された1組の屋根パネルの上端部の外側リブ

による。第22図は、このうち容器胴部の横断面形状が長方形の容器の一例を示す斜視図であり、容器101は胴部102とゲーベルトップ型の頂部閉鎖部105とを有する。胴部102は互いに対向する1組の狭幅の胴パネル103、103と1組の広幅の胴パネル104、104とからなり長方形の横断面形状を有する直方体胴部である。そして、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部105は、胴パネル104、104と平行、すなわち胴部の横断面長方形の長辺と平行な中央積層リブ106を有している。中央積層リブ106は胴パネル104、104に連設した屋根パネル107、107の上端部が重合接着されたものである。この容器101に充填された飲料の注出は、図示例のように屋根パネル107に設けられた注出口108のキャップを取り外してから行われる。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、上述の容器101では、内容物を注出する際に、注出口108が配設されている屋根パネル107と連設した胴パネル104が下

方となるように容器を把持する必要がある。すなわち、胴部102の広幅の胴パネル104の幅方向に亘って手を広げて把持する必要があるが、比較的大きな容器で内容物がかなり残っている状態では、容器をこのように把持することが難しいという問題がある。

本発明は、上述したような事情に鑑み創案されたものであり、容器胴部の横断面形状が長方形であって、頂部閉鎖部がゲーベルトップ型の容器でありながら、内容物を注出する際の容器把持がきわめて容易であるとともに、形状的にユニークで他の容器との識別が容易な容器を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

このような目的を達成するために、本発明は互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部と、該直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部と、前記直方体胴部の他方の開口端部に形成された底部閉鎖

— 3 —

部とを有する容器において、前記頂部閉鎖部に前記直方体胴部の横断面長方形の短辺と平行な中央積層リブが形成されているような構成とした。

〔作用〕

互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部を有する容器のゲーベルトップ型の頂部閉鎖部に、前記横断面長方形の短辺と平行となるように中央積層リブが設けられる。これにより、狭幅の胴パネルを跨ぐようにして片手で容器を把持することができる。

〔実施例〕

以下、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明の容器の一実施例のブランク板の展開図である。第1図において、ブランク板1は広幅の胴パネル11、31と、狭幅の胴パネル51、56とを有し、胴パネル51、56はそれぞれ折り線a、bを介して胴パネル11に連設され、胴パネル31と胴パネル56とは折り線c

— 5 —

— 4 —

を介して連設され、また胴パネル51には折り線dを介して接着フラップ71が連設されている。このような胴パネル11、31、51、56を折り線a、b、cで折り、接着フラップ71を折り線dで折って接着フラップ71を胴パネル31に接着することにより胴部が形成される。この胴部は、胴パネル11、31の幅が胴パネル51、56よりも大きいことから、その横断面形状が長方形を示す直方体である。

そして、各胴パネルの上端および下端には、それぞれ頂部閉鎖部を構成する妻パネル P_1 、 P_2 、屋根パネル P_3 、 P_4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 、 T_3 、 T_4 とが連設されている。すなわち、胴パネル11の上端には山折り線eを介して前折り込みパネル12が連設され、この前折り込みパネル12には谷折り線f、gを介して横折り込みパネル13、14が連設されている。また、前折り込みパネル12には谷折り線hを介して前折り返しパネル15が連設され、この前折り返しパネル15には山折り線i、jを

— 6 —

介して横折り返しパネル16, 17が連設されている。横折り返しパネル16, 17は、また谷折り線k, lを介してそれぞれ横折り込みパネル13, 14にも連設されている。さらに、横折り込みパネル13, 14には山折り線m, nを介して折り込み内側リブパネル18, 21がそれぞれ連設され、また横折り返しパネル16, 17には谷折り線o, pを介して折り返し内側リブパネル19, 20がそれぞれ連設されている。この折り込み内側リブパネル18と折り返し内側リブパネル19は谷折り線qを介し、折り込み内側リブパネル21と折り返し内側リブパネル20は谷折り線rを介し、また折り返し内側リブパネル19と折り返し内側リブパネル20は山折り線sを介してそれぞれ連設されている。そして、このような各パネルによって妻パネルP₁が構成されている。

また、胴パネル31の上端にも、胴パネル11と同様にして前折り込みパネル32、横折り込みパネル33, 34、前折り返しパネル35、横折り返しパネル36, 37、折り込み内側リブパネ

ル38, 41、折り返し内側リブパネル39, 40がそれぞれ連設されて妻パネルP₂が構成されている。

胴パネル51の上端には山折り線vを介して傾斜パネル52が連設され、この傾斜パネル52には谷折り線wを介して外側リブパネル53が連設されて屋根パネルP₃が構成されている。同様に胴パネル56の上端に傾斜パネル57と外側リブパネル58とが連設されて屋根パネルP₄が構成されている。そして、妻パネルP₁は折り線a', b'を介して屋根パネルP₃, P₄に連設され、妻パネルP₂は折り線c'を介して屋根パネルP₃に連設されて頂部閉鎖部が構成されている。なお、屋根パネルP₃には折り線d'を介して接着フラップ71aが連設されている。

さらに、胴パネル11, 31には、それぞれ山折り線xを介して下部パネル61, 62が連設されて底部閉鎖パネルT₁, T₂が構成されている。また、胴パネル51には山折り線xを介して下部折り込みパネル63が連設され、この下部折り込

— 7 —

みパネル63には谷折れ線y, zを介して下部横折り返しパネル64, 65が連設されて底部閉鎖パネルT₃が構成されている。同様にして胴パネル56にも下部折り込みパネル66、下部横折り返しパネル67, 68が連設されて底部閉鎖パネルT₄が構成されている。そして、底部閉鎖パネルT₁は折り線a'', b''を介して底部閉鎖パネルT₃, T₄に連設され、底部閉鎖パネルT₂は折り線c''を介して底部閉鎖パネルT₄に連設されて底部閉鎖部が構成されている。なお、底部閉鎖パネルT₃には折り線d''を介して接着フラップ71bが連設されている。

第6図は、第1図に示されるブランク板1を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第10図は斜視図である。第6図および第10図において、妻パネルP₁の折り込み内側リブパネル18, 21および折り返し内側リブパネル19, 20は山折り線s、谷折り線q, rの各先端部を折り頂点A, B, Cとしてそれぞれ谷折り線q, r、山

— 8 —

折り線sで3つ折りされ、屋根パネルP₃, P₄の外側リブパネル53, 58間に折り込まれている。また、妻パネルP₂の折り込み内側リブパネル38, 41および折り返し内側リブパネル39, 40も同様に3つ折りされ、屋根パネルP₃, P₄の外側リブパネル53, 58間に折り込まれている。そして、第14図に示されるように、外側リブパネル53, 58により各内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブRが形成される。この場合、妻パネルP₁の各内側リブパネルと妻パネルP₂の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことはない。

第2図は、本発明の容器の他の実施例のブランク板の展開図である。第2図において、ブランク板2は上記のブランク板1と同様に広幅の胴パネル11, 31と、狭幅の胴パネル51, 56とを有し、胴パネル51, 56はそれぞれ折り線a, bを介して胴パネル11に連設され、胴パネル31と胴パネル56とは折り線cを介して連設され、また胴パネル51には折り線dを介して接着

— 9 —

— 10 —

フラップ71が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P'_1 、 P'_2 、屋根パネル P_3 、 P_4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 、 T_3 、 T_4 とが連設されている。このブランク板2と上記のブランク板1との相違は、妻パネル P'_1 、 P'_2 と妻パネル P_1 、 P_2 とが異なる点である。まず、妻パネル P'_1 は、妻パネル P_1 の折り込み内側リブパネル18、21と折り返し内側リブパネル19、20に相当する折り込み内側リブパネル22、25と折り返し内側リブパネル23、24を備えているが、この各内側リブパネル22、23、24、25の上端辺は図示のように直線状態となるように構成されている。また、妻パネル P'_2 は、胴パネル31の上端に山折り線 e' を介して前折り込みパネル42が連設され、この前折り込みパネル42には谷折り線 f' 、 g' を介して横折り込みパネル43、44が連設され、さらに、横折り込みパネル43、44には谷折り線 m' 、 n' を介して内側リブパ

ネル45、46がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル45と内側リブパネル46は谷折り線 s' を介して相互に連設されている。そして、横折り込みパネル43は折り線 c' を介して屋根パネル P_4 と連設して頂部閉鎖部が構成されている。

第7図は、第2図に示されるブランク板2を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第11図は斜視図である。第7図および第11図において、妻パネル P'_1 の折り込み内側リブパネル22、25および折り返し内側リブパネル23、24は山折り線 s 、谷折り線 q 、 r の各先端部を折り頂点 A 、 B 、 C としてそれぞれ谷折り線 q 、 r 、山折り線 s で3つ折りされ、屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル53、58間に折り込まれている。また、妻パネル P'_2 の内側リブパネル45、46は谷折り線 s' の先端部を折り頂点 D として谷折り線 s' で1つ折りされ、同じく屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル53、58間に折り

— 11 —

込まれている。そして、第15図に示されるように、外側リブパネル53、58により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブ R が形成される。この場合、妻パネル P'_1 の各内側リブパネルと妻パネル P'_2 の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことはない。

第3図は、本発明の容器の他の実施例のブランク板の展開図である。第3図において、ブランク板3は上記のブランク板1と同様に広幅の胴パネル11、31と、狭幅の胴パネル51、56とを有し、胴パネル51、56はそれぞれ折り線 a 、 b を介して胴パネル11に連設され、胴パネル31と胴パネル56とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル51には折り線 d を介して接着フラップ71が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P_5 、 P_6 、屋根パネル P_3 、 P_4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 、 T_3 、 T_4 とが連設されている。このブランク板3と上記のブランク板1との相違は、妻パネル

— 13 —

— 12 —

P_5 、 P_6 と妻パネル P_1 、 P_2 とが異なる点である。まず、妻パネル P_5 は、胴パネル11に連設され胴パネルと同一平面上にある妻板81を有し、この妻板81の上端に山折り線 e 、 f を介して前折り込みパネル82、83が連設され、この前折り込みパネル82、83には谷折り線 g 、 h を介して横折り込みパネル84、85が連設されるとともに、谷折り線 i 、 j を介して折り返しパネル86、87が連設されている。この折り返しパネル86、87は山折り線 k を介して相互に連設されている。さらに、横折り込みパネル84、85には山折り線 l 、 m を介して内側リブパネル88、89がそれぞれ連設されて構成されている。また、妻パネル P_6 も妻パネル P_5 と同様にして、妻板91、前折り込みパネル92、93、横折り込みパネル94、95、折り返しパネル96、97および内側リブパネル98、99がそれぞれ連設されて構成されている。そして、妻パネル P_5 は折り線 a' 、 b' を介して屋根パネル P_3 、 P_4 に連設され、妻パネル P_6 は折り線 c' を介

— 14 —

して屋根パネル P_4 に連設されて頂部閉鎖部が構成されている。

第8図は、第3図に示されるブランク板3を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第12図は斜視図である。第8図および第12図において、妻パネル P_5 は、山折り線 k の先端部を折り頂点 A とし、谷折り線 g 、 i および山折り線 l の交点を折り頂点 B とし、谷折り線 h 、 j および山折り線 m の交点を折り頂点 C として3つ折りされ、内側リブパネル 88 、 89 は屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル 53 、 58 間に折り込まれている。また、妻パネル P_6 の内側リブパネル 98 、 99 も同様に屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル 53 、 58 間に折り込まれている。そして、第12図に示されるように、外側リブパネル 53 、 58 により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブ R が形成される。この場合、妻パネル P_5 の各内側リブパネルと妻パネル P_6 の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことは

— 15 —

部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 、 T_3 、 T_4 とが連設されている。このブランク板4と上記のブランク板1との相違は、妻パネル P_7 、 P_8 、屋根パネル P_9 、 P_{10} と、上記妻パネル P_1 、 P_2 、屋根パネル P_3 、 P_4 とが異なる点である。妻パネル P_7 は、胴パネル 11 の上端に山折り線 e を介して前折り込みパネル 26 が連設され、この前折り込みパネル 26 には谷折り線 f 、 g を介して横折り込みパネル 27 、 28 が連設され、さらに、横折り込みパネル 27 、 28 には山折り線 m 、 n を介して内側リブパネル 29 、 30 がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル 29 と内側リブパネル 30 は谷折り線 s を介して相互に連設されている。また、妻パネル P_8 も同様に前折り込みパネル 36 、横折り込みパネル 37 、 38 および内側リブパネル 39 、 40 が連設されて構成されている。

屋根パネル P_9 は、胴パネル 51 の上端に山折り線 v を介して傾斜パネル 54 が連設され、この傾斜パネル 54 に谷折り線 w を介して外側リブパ

— 17 —

ない。そして、第16図から明らかなように、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部は妻板 81 、 91 がそれぞれ胴パネル 11 、 31 に連設され、かつ胴パネルと同一平面上にあり、このため屋根パネル P_3 、 P_4 の傾斜パネル 52 、 57 の下方に妻パネル P_5 、 P_6 により形成される凹部（第10図、第11図参照）が存在しない。したがって、頂部閉鎖部のヘッドスペースがより増加したものとなっている。

第4図は、本発明の容器の他の実施例のブランク板の展開図である。第4図において、ブランク板4は上記のブランク板1と同様に広幅の胴パネル 11 、 31 と、狭幅の胴パネル 51 、 56 とを有し、胴パネル 51 、 56 はそれぞれ折り線 a 、 b を介して胴パネル 11 に連設され、胴パネル 31 と胴パネル 56 とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル 51 には折り線 d を介して接着フラップ 71 が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P_7 、 P_8 、屋根パネル P_9 、 P_{10} と、底

— 16 —

ネル 55 が連設されて構成されている。同様に胴パネル 56 の上端に傾斜パネル 59 と外側リブパネル 60 とが連設されて屋根パネル P_{10} が構成されている。そして、妻パネル P_7 は折り線 a' 、 b' を介して屋根パネル P_9 、 P_{10} と連設し、妻パネル P_8 は折り線 c' を介して屋根パネル P_{10} と連設して頂部閉鎖部が構成されている。

そして、本実施例では、各折り線 a' 、 b' 、 c' 、 d' が、対応する各折り線 a 、 b 、 c 、 d の延長線に対して所定の角度 θ だけ開いて延びている点で上記の実施例と異なる。この所定角度 θ は、谷折り線 w の長さ、谷折り線 m と谷折り線 n の長さの和とが等しくなるように設定された角度である。

第9図は、第4図に示されるブランク板4を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第13図は斜視図である。第9図および第13図において、妻パネル P_7 の内側リブパネル 29 、 30 は谷折り線 s の先端部を折り頂点 E として谷折り線 s で

— 18 —

1つ折りされ、屋根パネル P_9 、 P_{10} の外側リブパネル55、60間に折り込まれている。また、妻パネル P_8 の内側リブパネル39、40も同様に谷折り線 s' の先端部を折り頂点 E' として谷折り線 s' で1つ折りされ、屋根パネル P_9 、 P_{10} の外側リブパネル55、60間に折り込まれている。そして、第17図に示されるように、外側リブパネル55、60により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブ R が形成される。この時、上述したように谷折り線 w の長さ、谷折り線 m と谷折り線 n の長さの和とが等しくなるように設定されているため、折り頂点 E 、 E' が当接するようにして重合接着される。したがって、中央積層リブ R の長さは、各胴パネル11、31、51、56の幅の総和 L (胴部の周囲長さ)の略 $1/4$ となる。

さらに、第5図は、本発明の容器の他の実施例のブランク板の展開図である。第5図において、ブランク板5は上記のブランク板2と同様に広幅の胴パネル11、31と、狭幅の胴パネル51、

56とを有し、胴パネル51、56はそれぞれ折り線 a 、 b を介して胴パネル11に連設され、胴パネル31と胴パネル56とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル51には折り線 d を介して接着フラップ71が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P'_1 、 P'_2 、屋根パネル P_3 、 P_4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 、 T_3 、 T_4 とが連設されている。このブランク板5と上記のブランク板2との相違は、妻パネル P'_1 と上記の妻パネル P'_1 とが異なる点である。すなわち、妻パネル P'_1 は妻パネル P'_2 と同様の構成であり、胴パネル11の上端に山折り線 e を介して前折り込みパネル12が連設され、この前折り込みパネル12には谷折り線 f 、 g を介して横折り込みパネル13、14が連設され、さらに、横折り込みパネル13、14には谷折り線 m 、 n を介して内側リブパネル15、16がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル15と内側リブパネル16は谷折

— 19 —

り線 s を介して相互に連設されている。

第18図は、第5図に示されるブランク板5を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す斜視図である。第18図において、妻パネル P'_1 の内側リブパネル15、16は谷折り線 s の先端部を折り頂点 F として谷折り線 s で1つ折りされ、屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル53、58間に折り込まれている。また、妻パネル P'_2 の内側リブパネル45、46も同様に谷折り線 s' の先端部を折り頂点 F' として谷折り線 s' で1つ折りされ、屋根パネル P_3 、 P_4 の外側リブパネル53、58間に折り込まれている。そして、外側リブパネル53、58により各内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブが形成される。この実施例では、1つ折りされ外側リブパネル53、58間に折り込まれた内側リブパネル15、16と内側リブパネル45、46とが相互に重なるようにして重合接着されている。

上述の各実施例においは、その底部閉鎖部の構

— 20 —

成は同一であり、第19図に示されるように構成されている。第19図において、底部閉鎖パネル T_3 は、山折り線 x 、谷折り線 y 、 z で下部折り込みパネル63、下部横折り返しパネル64、65がそれぞれ折られて底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 の下部パネル61、62間に折り込まれ、同様に底部閉鎖パネル T_4 の下部折り込みパネル66、下部横折り返しパネル67、68がそれぞれ折られて底部閉鎖パネル T_1 、 T_2 の下部パネル61、62間に折り込まれている。そして、下部パネル62上に下部パネル61を重ねるようにして両下部パネルを胴パネル、11、31に直角に折り曲げて重合接着することにより底部閉鎖部が構成される。

また、本発明の容器は、頂部閉鎖部に公知の種々の注出口が設けられていてもよい。第20図は、第1図に示された実施例を例に、その屋根パネル P_3 の傾斜パネル52に設けられた注出口の一例を示す斜視図である。第20図において、注出口201は傾斜パネルに固着するためのフランジ

— 21 —

— 22 —

部 205 を周辺下部に備えた基部 202 と、基部 202 に設けられた開閉部 203 と、開閉部 203 の一端に配設された引張り部材 204 とを有している。第 21 図は第 20 図に示された注出口 201 の $XXI-XXI$ 線における縦断面図であり、基部 202 はフランジ部 205 を介して傾斜パネル 52 に固着され、この基部 202 と開閉部 203 は、開閉部 203 の周辺部に形成された肉薄部分 206 を介して一体化されている。そして、注出時に引張り部材 204 を引張ることにより、肉薄部分 206 のうち開閉部 203 の回動基部となる肉薄部分 206a を除いた他の肉薄部分 206b が引き裂かれて開閉部 203 が開放される。また、一度開閉部 203 が開放された後、注出口 201 を閉じる場合は、開閉部 203 を基部 202 に押し込むことにより閉鎖され、この時、引張り部材 204 の突出部 204a が基部 202 の上端部 202a に当接した状態となる。

なお、本発明は上述の実施例に限定されるものではなく、頂部閉鎖部の形状、底部閉鎖部の形状

および注出口形状等は他の態様とすることができる。

〔発明の効果〕

上述したような本発明によれば、互いに対向する 1 組の広幅の胴パネルと 1 組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部に、中央積層リブが前記横断面長方形の短辺と平行となるように設けられているため、頂部閉鎖部の屋根パネルに設けられた注出口から内内容を注出する際に狭幅の胴パネルを跨ぐようにして容器を把持することができ取扱いがきわめて容易になるという効果が奏される。

4. 図面の簡単な説明

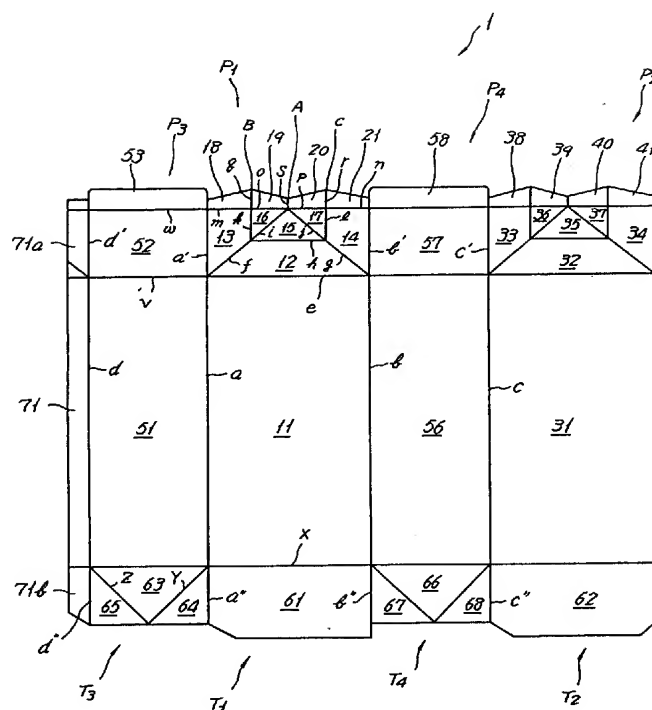
第 1 図乃至第 5 図は本発明の容器の実施例のブランク板の展開図、第 6 図乃至第 9 図はそれぞれ第 1 図乃至第 4 図に示されるブランク板を各折り線で折り曲げて形成された容器の頂部閉鎖部を示す平面図、第 10 図乃至第 13 図は同じく第 1 図

— 23 —

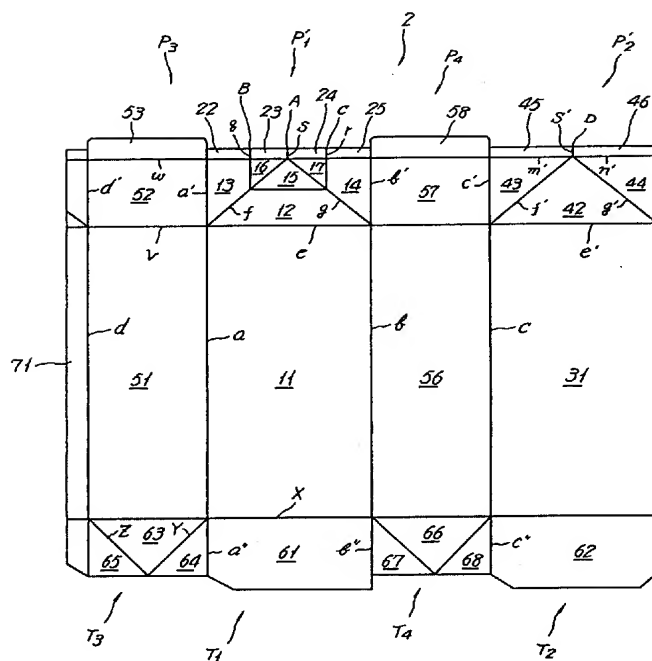
乃至第 4 図に示されるブランク板を各折り線で折り曲げて形成された容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 14 図乃至第 17 図はそれぞれ第 6 図乃至第 9 図に示される容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 18 図は第 5 図に示されるブランク板を各折り線で折り曲げて形成された容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 19 図は本発明の容器の底部閉鎖部の一例を示す斜視図、第 20 図は屋根パネルに設けられた注出口の一例を示す斜視図、第 21 図は第 20 図に示された注出口の $XXI-XXI$ 線における縦断面図、第 22 図は容器胴部の横断面形状が長方形である従来の容器の一例を示す斜視図である。

11, 31…広幅の胴パネル、51, 56…狭幅の胴パネル、53, 55, 58, 60…外側リブパネル、 P_1 , P_2 , P'_1 , P'_2 , P_5 , P_6 , P_7 , P_8 …妻パネル、 P_3 , P_4 , P_9 , P_{10} …屋根パネル、 T_1 , T_2 , T_3 , T_4 …底部閉鎖パネル、 R …中央積層リブ。

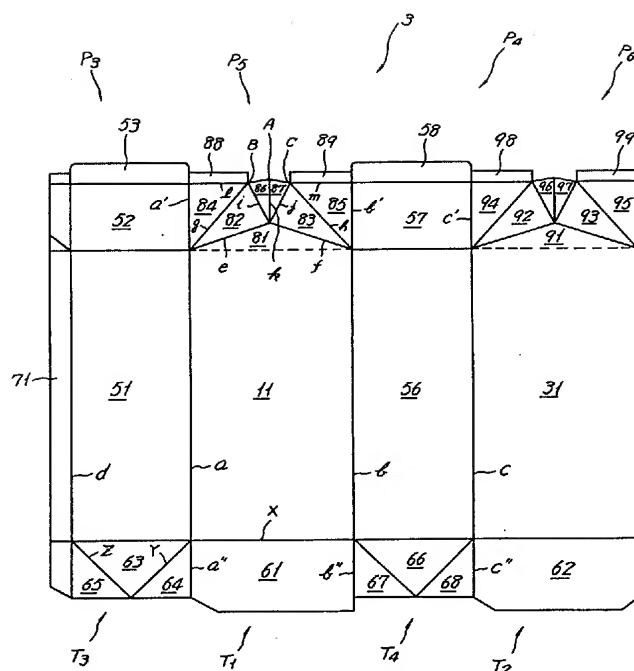
— 25 —



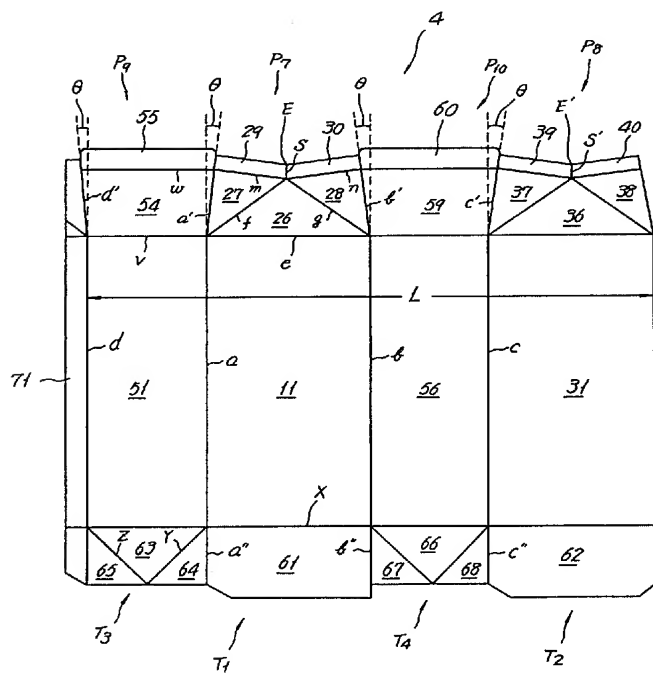
第 1 図



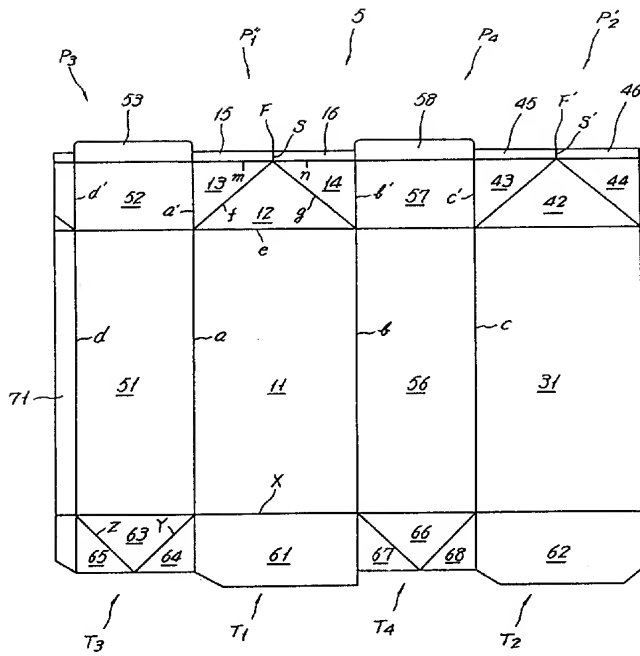
第 2 図



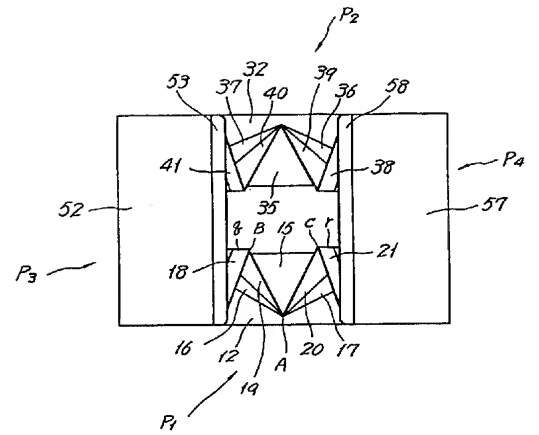
第 3 図



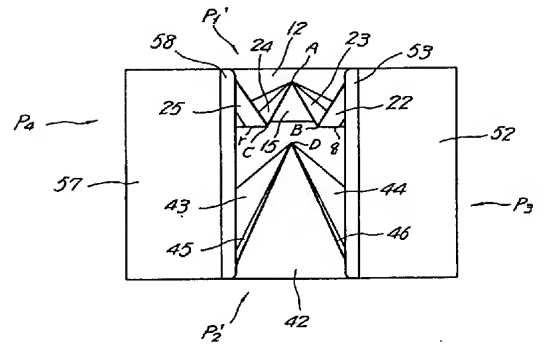
第 4 図



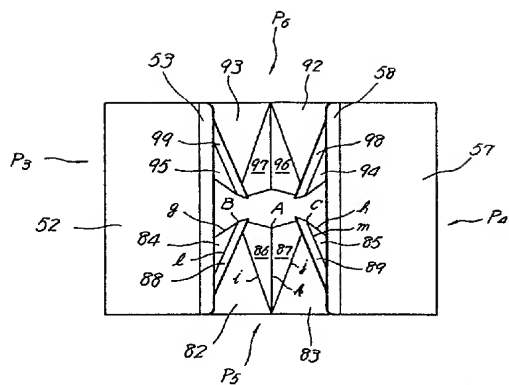
第 5 図



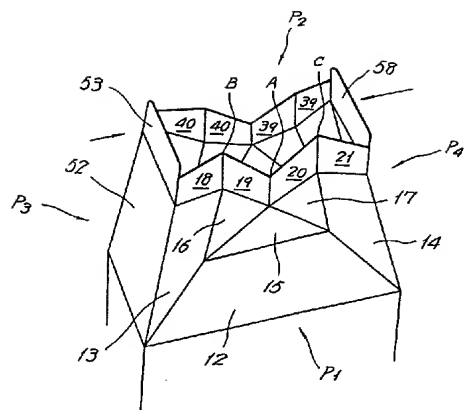
第 6 図



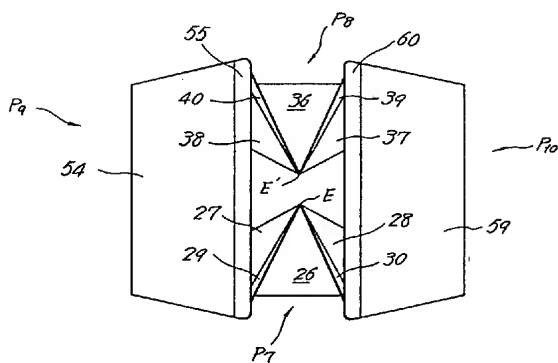
第 7 図



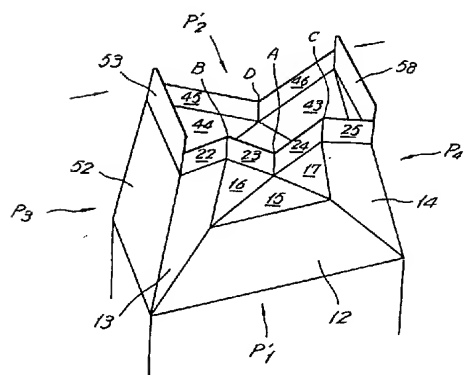
第 8 図



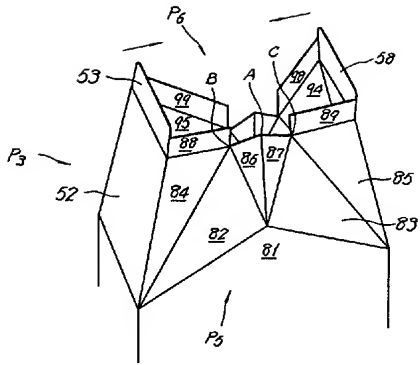
第 10 図



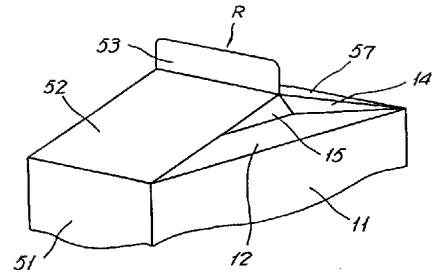
第 9 図



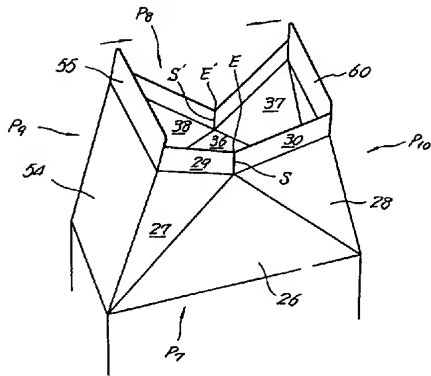
第 11 図



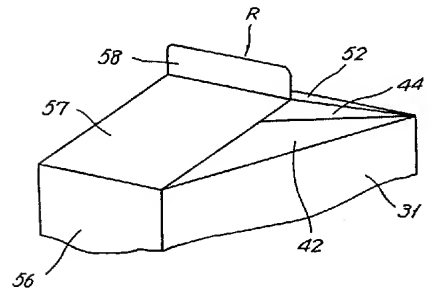
第 12 図



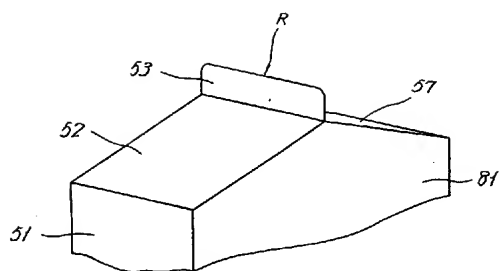
第 14 図



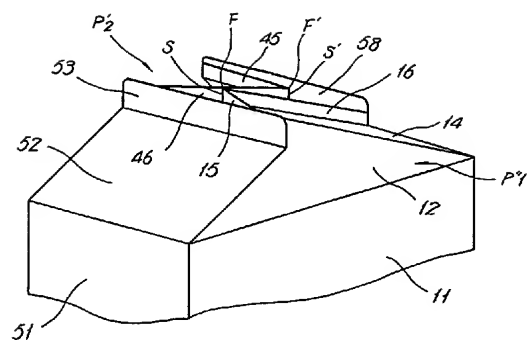
第 13 図



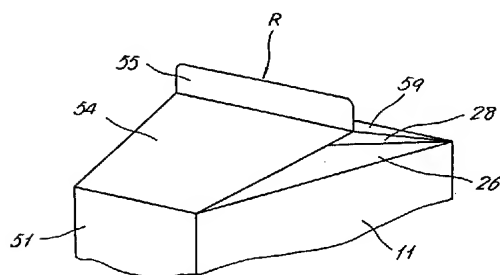
第 15 図



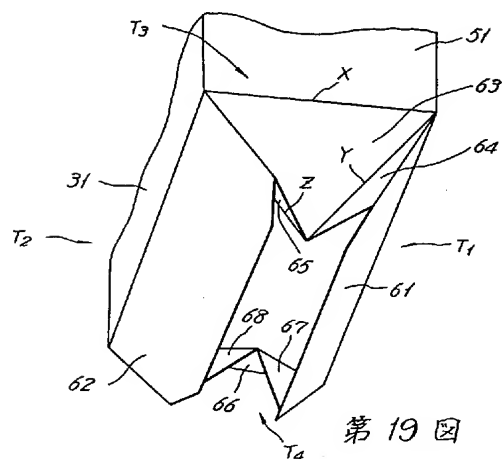
第 16 図



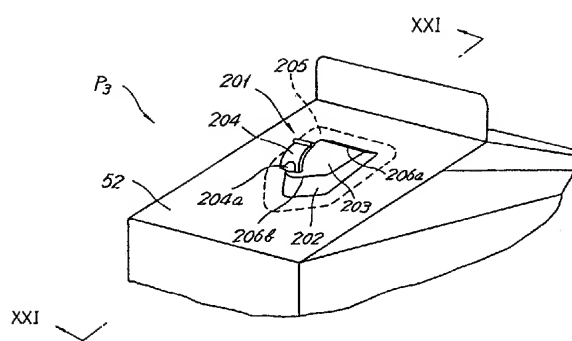
第 18 図



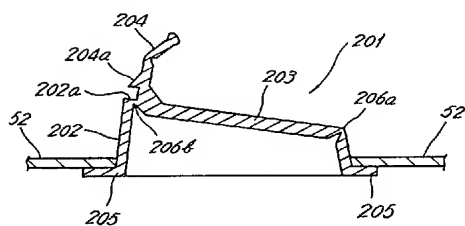
第 17 図



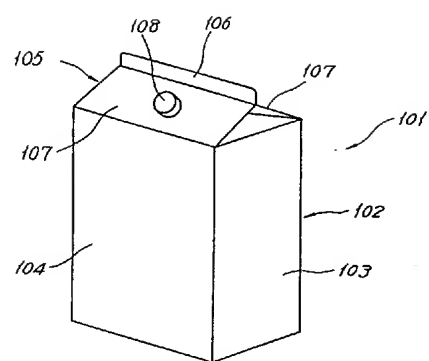
第 19 図



第 20 図



第 21 図



第 22 図

PAT-NO: JP403212340A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03212340 A
TITLE: VESSEL
PUBN-DATE: September 17, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAWAJIRI, RYOICHI	
SEKINO, HITOSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAINIPPON PRINTING CO LTD	N/A

APPL-NO: JP01341639
APPL-DATE: December 29, 1989

INT-CL (IPC): B65D005/40 , B65D005/08 ,
B65D005/74

US-CL-CURRENT: 229/123.3 , 229/214

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily hold a vessel to stride over the shell panel with the narrow width when the contents is discharged from the outlet provided on the roof panel with the closed apex, by providing a central laminated rib to be parallel with the shorter side of the rectangular lateral section in

a gable top type closed apex.

CONSTITUTION: While the closed apex of a vessel is formed by the folded blank plate 4 at the respective folding lines, the inner rib panels 29, 30 of a gable panel P7 are bent at the folding valley line (s) as a folding apex E at the front edge of the folding valley line (s) and folded between the outside rib panels 55, 60 of the roof panels P9, P10. And the innerside rib panels 39, 40 of the gable panel are folded in the like manner at the folding valley line (s') as a folding apex E' at the front edge of the folding valley line (s') and folded between the outside rib panels 55, 60 of the roof panels P9, P10. And the innerside rib panels are superimposed and bonded by the outside rib panels 55, 60 to form a central laminated rib R.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio